

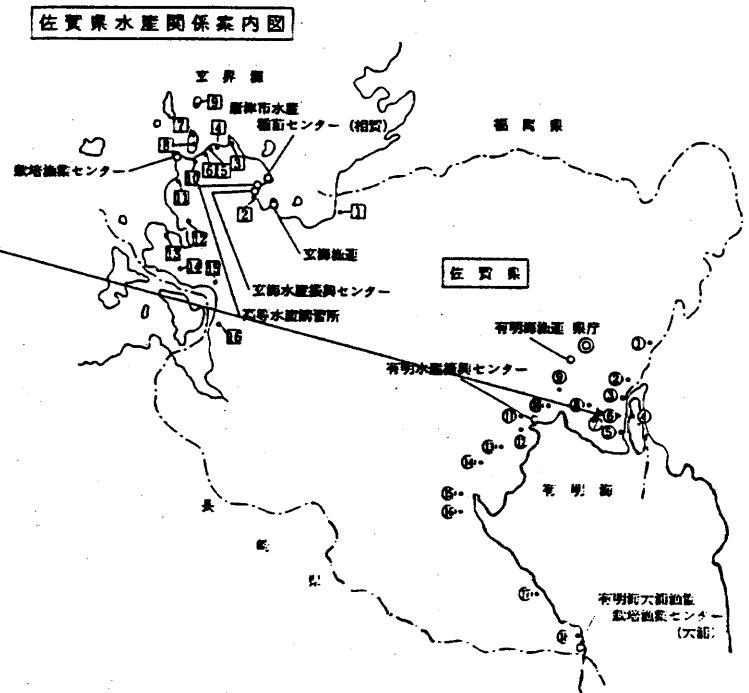
漁家の歩みと婦人部活動

広江 漁協婦人部
部長 西村 陽子

1. 地域の概況

私達の住む川副町は、佐賀県庁所在地の佐賀市より南へ7キロ余りに位置し、県民の夢と希望の期待にこたえるため、平成10年7月28日に開港した「有明佐賀空港」があり、田園風景と有明海が一望できる風光明媚なところで、人口は1万9千人である。

漁協(空海)	漁協(有明海)
① 浜崎町	① 千代田町
② 唐津市	② 藤富町
③ 鹿形石	③ 早津江
④ 小友	④ 大詫間
⑤ 呼子町	⑤ 南川副
⑥ 呼子町浦方	⑥ 大井延
⑦ 加部島	⑦ 広江
⑧ 片島本部	⑧ 東与賀町
⑨ 小川島	⑨ 佐賀市
⑩ 飯西町	⑩ 久保田町
⑪ 外津	⑪ 芦刈
⑫ 飯屋	⑫ 藤富町
⑬ 肥前	⑬ 白石町北明
⑭ 高串	⑭ 新有明
⑮ 大瀬浜	⑮ 龍王
⑯ 波多津	⑯ 鹿島市
	⑰ たら
	⑱ 大瀬



2. 漁業の概況

私達の所属する広江漁協は、漁家戸数121戸、組合員数210名から構成されている。冬場の海苔養殖を主幹漁業として、夏場は刺網漁業・採貝漁業・観光釣り船などの遊漁船業を営んでおり、平成10年度の乾海苔の販売高は約14億円であった。

「広江漁協の朝市」として、春先から夏場の期間には刺網漁業荷を中心に、大潮の日曜日に新鮮な魚貝類を安値で販売する朝市を漁港で行っており、有明海で生産される海苔や魚貝類を漁業者から直接消費者に販売し、新鮮で豊かな栄養と美味しさをわかってもらいたいと思っている。また、毎回1番摘みの海苔を抽選にて50名に無料配布して海苔の消費拡大のPRも努めている。

3. 婦人部の組織と運営

私達婦人部は昭和33年1月に難産ながら産声をあげ誕生したが、折しも漁業者にとって1番つらい時であった。

婦人部ができたものの生活が苦しくて婦人部活動は何もできない状況で、それでも少しずつ婦人部の母体が作られてきた。「むこう潮・むこう飯」の生活の中で、これではいけないと、昭和35年頃から十円貯金推進運動が始まり、今の十円とは違い、その日暮らしの生活の中での十円は大変だったそうである。

そんな時期手さぐりで始めた「タイラギ漁」で捕れたタイラギの貝柱についている「ワタ」を婦人部で活用する様になり、売り上げ代金を婦人部口座へ振込を行ない、貯蓄推進運動では、県知事賞をいただくまでになったそうである。

そのタイラギ漁も長くは続かず昭和33年に少数の人により海苔養殖が始まった。その海苔養殖も当初は芽竹購入でずいぶん苦労し、その後、人口採苗が始まり、徐々に海苔養殖漁家も増加し、昭和39年の東京オリンピックの年には、見事な大輪の海苔の花を咲かせ、暗い苦しいトンネルを抜ける事ができたのである。

婦人部の構成は、部長1名・副部長2名・班長15名で部員数107名となっており、部長・副部長の任期は2年で、班長は1年毎の交代で各班で選任し、例会を年3回程、班長会を年5、6回開催している。婦人部の運営は、部費と漁業組合からの助成金及び活動資金で運営している。

4. 研究・実践活動課題選定の動機

昭和42年に、今までになかった「白ぐされ病」という、海苔の病気が発生し大被害を受け、その後その教訓を生かし冷凍網の研究がなされ、秋芽海苔・冷凍海苔と2回の生産が可能となり、徐々に安定した生産をあげる事ができ、人並みの生活ができるようになった。しかし、人並みの生活も海の汚染、生産量の増に伴う単価の低迷、設備投資の拡大及び平成5年より、すみ海苔対策として行われる様になった活性処理と、忙しい割には利益が少なく経費がかさみ厳しい時代となってきている。ことわざにもあるように「上見ればはてなし」といわれているが、自分の仕事が1番と考え今、この厳しい時をどう乗り切るのが大事だと思い部員一同、婦人部活動に頑張っている。

5. 研究・実践活動状況および結果（効果）

年間活動では、婦人部の総会の時に、毎年いろいろなレクレーションを考え、講演会やゲームで楽しんだり鉄鍋の講習会を開催しながらの昼食会では、部員同志、漁期の反省やこれからの事を話し合い、とても有意義で楽しい一日を過ごしている。

次に、平成3年より始まった青色申告記帳の勉強。最初の頃は、どうなる事かと思っていたが「案ずるより生むが安し」のことわざの様に年数がたつと、部員一同、少しでも税金対策になる様記帳する事ができる様になり、今年は45万円の青色申告特別控除の適用を受ける事ができた。

お中元シーズンには、海苔消費拡大運動として「自分の海苔に自信を持ち、自分の製品を送ろう」の合言葉で、海苔の注文販売を行っている。

下半期になると、いよいよ忙しい時期を迎え、海苔の採苗が終わるとすぐに、漁連より指

導部の方を招き、毎年変わる消費者及び、商社のニーズ等の情報を得て、製品向上を図るため、うまい海苔製品向上講習会を開催している。

又、婦人部においても海苔製品向上には特に力を入れ、抜き打ち検査を行うことを全部員に承認してもらっている。海苔検査の時、秋・冷凍と1世帯当たり百枚抜き取り、それを婦人部の幹部において1枚ずつ検査を行っている。以前は本人だけ不良品の内訳を伝えていたが、それでは何の進歩もなかったので、例会の時に全部員に分かる様に一覧表にして配布する様にした結果、ずいぶん良くなったと思っている。

抜き打ち検査した海苔は加工して、朝市や個人に販売をして婦人部の活動資金としている。講習会と同時に、地元の洋品店と提携して、作業服の販売を行い、その際の利益は婦人部の欠かせない収入源となっている。

海苔漁期中は、秋海苔と冷凍海苔の間に全部員参加で、漁港清掃を行い美化に努めている。又、毎年実施されている佐賀海苔コンクールに出品する海苔を選ぶ為に食味試験を組合・青年部・婦人部の役員で行い、その中で選ばれた2名の海苔をコンクールに出品しており、入賞できるように「うまい海苔づくり」に取り組んでいる。。

漁期が終わると、頑張って働いた婦人部員の骨休みの為に、1年毎に日帰り1泊の旅行を行っている。その為の毎月17日の貯金日に1,500円の旅行積立てをしている。

毎月17日の皆貯金日には、班長が婦人部貯金の集金を行い、黒い手さげバックの中には、さざなみ積金・つぼみ貯金・旅行積立金と3種類の袋が入っており、金額はおのおの違うが、さざなみ積金は部員の約80%が積み立てている。つぼみ貯金はお盆の準備のための積立金である。10月17日の皆貯金日には、昭和54年から始まったジュースの空き缶を利用した缶々貯金を行っている。最初の頃は、1円玉・十円玉が多かったが、最近では百円玉・5百円玉が増え金額も高額になってきた。また、高額貯金者上位3名を総会の時に表彰している。

年度末には、班長会にて次年度の漁港及び河川の清掃日の日程を潮汐表により大潮の金曜日に計画をしている。私達が今1番推進している事は、漁民の命である海を守る運動である。漁期以外は毎月必ず漁港及び周辺の河川清掃を行いゴミが少しでも沖に出ないように努力している。当日、どうしても出席できない部員は、前日に自分のできる範囲を清掃し清掃出席率は100%である。本当にたくさんのゴミやビン、空き缶が集められ、ゴミは区分し、町の焼却場で処分している。割れたビンや板切れに付いている釘などがたくさんあり、部員がケガをした時のために、1日保険にも加入している。

6. 波及効果

8月に4県(長崎・福岡・熊本・佐賀)合同で行われる有明海クリーンアップ事業でも、組合員はもちろんの事、私達婦人部も全員参加し、海の美化に努めている。

それと同時に、生活の場である海を汚染から守るために合成洗剤追放運動の一環として、わかしお石鹼を年2回家族構成により配分量を決めて配布している。最初の頃は、石鹼が溶けにくい、臭いがするなどたくさんの苦情があったが、今日では、いろいろ開発研究が進み、使いやすくなっており、自分達の海を汚染から守るため全部員一丸となって、努力している。今後石鹼運動の輪を地区全体に広げるのがこれからの課題である。

7. 今後の課題や計画と問題点

この厳しい現実を楽しく暮らすには、働きながら、趣味、楽しみを1つでも永く続けていられたらと、婦人部活動を広げるためアンケートをとり、その結果、生け花、パッチワーク、手編み教室の3つを6月から始めている。これからの課題としては、自分の楽しみを励みとし、1家の母、婦人部の一員として何事にもチャレンジし、いつまでも輝いているためにも、活動を長く続けていきたいと思っている。そのためにも、健康が一番。私達部員の中で、若い部員が3人も亡くなり、つくづく命の尊さ、はかなさを痛感し、健康管理の必要性を感じている。機械を点検をするように、漁期が終われば、体の点検も忘れずに仕事も趣味も楽しみながら婦人部活動にも積極的に参加していきたいと思っている。

みんなでおいでヨ!!

広江の漁師が活魚を直売!

朝市



と き 平成11年6月27日 日曜日

と ころ 広江漁港 午前7時より

一番摘み焼海苔を50名様に抽選にて進呈

★ アンケートに記入頂いた方へ毎回抽選にて2名様に新海苔50枚お正月に届けます。

今後の開催予定

6月27日	7月18日	8月13日
7月4日	8月1日	8月29日

海苔の驚くべき効用 (海苔で老化を防ぐ)

海苔にはビタミン類が多く含まれています。それが皮膚の老化を防ぎます。美しい肌をつくる三大栄養素であるコラーゲン、エラスチン、ヒアルロン酸のうち海苔にはエラスチンが豊富ですから、老化がいつそう防がれると言われてます。海苔を食べていつまでも美しい肌を保ちましょう

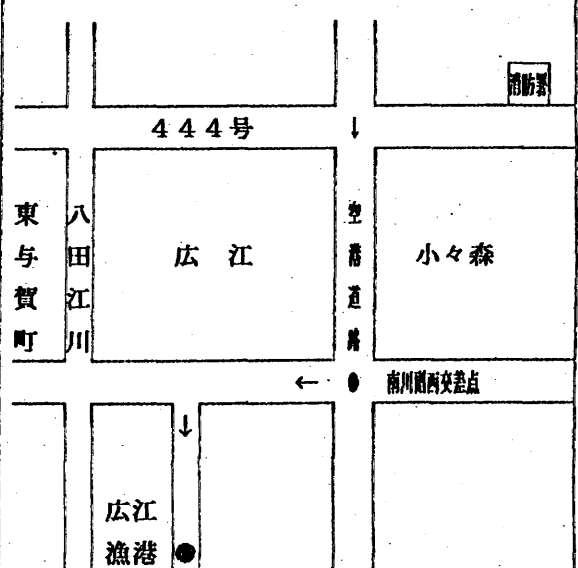
佐賀郡川副町大字小々森2112番地

広江漁協朝市実行委員会 0952-45-1011

朝市応援しています 広江の朝市は魚介類が新鮮です

・ヤンマーディーゼル特約店
 ・ヤマハFRP船特約店
 ・プレジャーボート各種販売
 ・中古エンジン ・中古船
MAIX (株) 野口商会
 ☎ 0945-1655

福地 燃料店
 LPガス、白灯油販売
 代表 福地 博
 〒840-2214
 佐賀郡川副町広江北
 TEL・FAX(0952)45-0357



新海苔ミス、各種販売
井上海苔みす製作所
 〒865 熊本県玉名郡義島町神埼9881
 TEL 0968-84-2682
 FAX 0968-84-8682

海苔機械製造・販売
(株) 川島製作所
 〒832福岡県山門郡三橋町953
 ☎ (0944) 63-2044
 FAX(0944) 63-8713

スズキ ポラ クルマエビ イイダコ 手長タコ ガザミ イカ アサリ コウイカ エツ シャコ クチゾコ

